

科学技術政策担当大臣等政務三役と
総合科学技術・イノベーション会議有識者議員との会合
議事概要

- 日 時 平成27年5月28日（木）10：15～10：52
- 場 所 中央合同庁舎8号館 6階623会議室
- 出席者 平副大臣、原山議員、久間議員、
内山田議員、中西議員、橋本議員、平野議員、
森本統括官、中西審議官、中川審議官、松本審議官
笹井参事官、田中（耕）参事官、林参事官、田中（宏）参事官

○議事概要

○原山議員 おはようございます。科学技術政策担当大臣等政務三役と総合科学技術・イノベーション会議有識者議員との会合を開催させていただきます。

本日は議題2つございます。1つは「二国間科学技術合同委員会の報告について」と、2つ目は「科学技術イノベーション総合戦略2015について」でございますが、公開とさせていただきたいのですが、よろしいでしょうか。

では、プレスお願いいたします。

（プレス入室）

○原山議員 本日は山口大臣、松本政務官、小谷さん、大西さんが御欠席ということでございます。

課題1. 「二国間科学技術合同委員会の報告について（中国、EU）」について

本日の議題、まず1でございます、「二国間科学技術合同委員会の報告について」、中国、EUに関してなんですが、笹井さんのほうからお願いいたします。

< 笹井参事官より説明 >

○原山議員 ありがとうございます。

本件に関しまして、御質問、コメントございましたら、よろしくお願ひいたします。

定期的なものがございますけれども、なかなかこの場でもってフォローアップしなかった
ので、これからはその場で何かあったときには報告していただくということでございますね。

○笹井参事官 御報告させていただきたいと思っております。

○原山議員 よろしいですか。

中川さん。

○中川審議官 参事官から今報告がありましたが、とりわけ日中も日EUも、これまで長年積
み重ねのあった科学技術の協力分野ということで、この分野では、人材育成を初め今のファン
ディングを共同でやる、あるいは日中でも、こういった科学技術の協力はともに非常に双方前
向きに進めていこうと、そういう雰囲気だったというふうに聞いております。これは、外務省
のほうでも科学技術外交が重要ということで議論をされたように、やはり国際のほうで協調を
しっかりやっていくという意味では非常に意義のあるものだということだと理解しております。

○平副大臣 報告してもらうのは大事だと思いますけど、行く前にどういうことを言おうかと
か、あと、こういうことを日本側から提案しようとか、行く前にもそういう機会をつくったほ
うがいいと思いますので、よろしくお願ひします。

○笹井参事官 はい、ありがとうございます。

○原山議員 よろしいでしょうか。

本件は外務省が主体となって、桂大使がミッションのヘッドとなっていらっしゃるところで、
関連する省庁の代表またファンディングエージェンシーも含まれるし、我々も主体的に取り組
みたいということでございます。

先ほどちょっと、書いてあるんですけど、EUに関しては、HORIZON2020というのがスター
トしていて、その中で国際的な枠組みが非常に重要視されています。日本の研究者もパートナ
ーとなって入っているんですけども、公募のタイミングとか、日本でもマッチングファンド
など、向こうがゴーサイン出たときに受ける受け皿がないと、なかなか一緒に乗り合えないと
いうことがあって、それに対する手当てというのを今やっているということでございます。こ
れも進捗がありましたら御報告をいただければと思います。

○笹井参事官 今回7件、マッチングファンドが行われているという御報告がございました。

○原山議員 では、本件はこれまでとさせていただきます。ありがとうございます。

課題2. 「科学技術イノベーション総合戦略2015について」について

続きまして、次の議題でございます、「科学技術イノベーション総合戦略2015について」ということで、林さんから御報告お願いいたします。

<林参事官より説明>

○原山議員 ありがとうございます。

総合戦略、これで3回目のエクササイズなんですけれども、これまでと異なるというのが、基本計画をまず作り、それを土俵として、具体的なものとしてやっていく。まさにこれが第5期の初年度を形づくるものである。その基本方針と中身の具体的なものとのすみ分けをしながら、補完的なものとして作り上げる、第1回目のやり方だと思います。既に議論を詰めたものをこういうふうな形にしたし、と同時に、関連省庁との調整というのも大分のところはできているという、少し残っている分もありますけれども、ほぼこの形になるというものでございます。これに関しましてコメント、御意見ございましたらよろしくお願いいたします。

橋本さん。

○橋本議員 とてもよく整理されていて、いろいろな論点も出ているので大変よくなったように思います。

1点だけコメントがあります。最後の司令塔機能強化のところ、一番最後の行になりますが、「国内外の関連データやエビデンスを収集し分析する調査分析機能の向上等により、事務局機能強化を図ることが重要である。」とあります。これについては、公的シンクタンクとの連携強化ということを繰り返し述べてきたつもりです。今も確かにいろいろな公的シンクタンクとやっているのはわかっていますが、さらなる強化は絶対必要だと思うのです。ですので、そこはしっかりと公的シンクタンクとの連携強化を図るということを書いていただく必要があるのではないかと思いますので、ご検討いただきたいと思います。

○原山議員 ありがとうございます。

また同時に、エビデンスというかデータを集めるだけでは不十分であって、それをいかに分析して政策に当事者に意味のあるものにするかという、その作業も必要で、それに関しても強化していかななくてはいけないというスタンスであって、そういう意味でのこの最後の部分です

ごくかなめだと思っております。

何かまとまっちゃうと意見が……コメントでも結構ですので、総評でも結構です。まだ珍しく時間ございますので。

相当な事務局の作業だったということは私見ておりますし、ここまで関連省庁の方たちがアグレイトしていただいたというのは非常に重たいことだと思っております。それを実装しなくちゃいけないんですけどね。まずは予算にそれを反映させていくことと、実装してウォッチしていく、その役目というのは、まずは事務局ずっとこれから残っていくわけですが。

○中西議員 正直、非常にシステマチックな印象です。いいことだと思います。

○原山議員 ありがとうございます。

では、平野さん。

○平野議員 私も非常によくまとめていただいたと思いますね。来年から第5期が始まるという、それを前提にして総合戦略というのはこういう形でまとめられた。特に第2部で、もちろん当面の課題設定とかそういうのもうまくまとめていただいていますけど、こういうものを持続させるための、あるいはここで連鎖を満たすとか入れられているんですね、そういう環境の整備に関して、非常に重要であるこの5つの課題をちゃんと明確にさせていただいたということは非常に良かったと思います。特に私いつも主張している学術研究・基礎研究の推進、これはやはり持続的なイノベーションを目指すにはやはり種ですので、そういうのも明確にさせていただいたと。さらに、今回これだけ強く「大学改革と研究資金改革の一体的推進」というのを明確にしたということもなかなかいいんじゃないかと思います。こういうことが本当に予算に結びつくというのがやはり大事だと思いますが。

○原山議員 橋本さん。

○橋本議員 ちょっと遠慮していたんですけど、大学改革のところコメントがあります。とてもよく書いていただいているのですが、今、文科省の資料でも、それから産業競争力会議からの依頼に対する文科省の回答においても、もうちょっと実はこれよりも書かれています。それで、この総合戦略のなかに入っていない単語、キーワードが2つありまして、1つは特定研究大学制度の話です。もう1つは卓越大学院の話で、卓越研究員は出ているんですけど卓越大学院が入っていません。この2つはいずれも、下村大臣の文章にもしっかりと書かれていて、しかも、来年の第3期中期計画までにはそれを行うという方向で進めるというふうに出ているのです。にも関わらず、総合戦略に出ていないというのは内容が整合していないように

思うのです。意図的に抜かれているという可能性もあるのかもしれませんが、政府としては、それを文科省にしっかりとお願いしているわけですし、その返答も既にあるわけですから、そこはやはり整合性をしっかりとっていただく必要があるんじゃないかと思います。もう一回言いますと、特定研究大学制度の話と卓越大学院、この2つのことです。ぜひ御検討いただきたいと思います。

○林参事官 わかりました。また関係省庁と意見を調整しましてやっていきたいと思います。

○原山議員 あと、最後の章のところの他の戦略本部との連携ですが、これまでも何回も書いてきたんですけども、具体的に相乗りできる部分かなり出て、例えば知財に関しましては、具体的に本文のほうに書き込んでいますし、平野先生に関しては、健康医療本部のほうの委員もしていらしゃいますよね。

○平野議員 そうですね。

○原山議員 でも、そういう形でさまざまな専門分野で、橋本さんはもちろん産業競争力会議のほうなんですけども、そういうふうにじわじわとしみこませている、それがあつての連携だと思いますので、その辺も御留意していただければと思います。

○平野議員 これは日本学術会議との連携とかそういうのはいいんですか、第3部は。シンクタンクとかそういう。

○原山議員 そうですね、学術会議が一言も出てきていませんね。前回の話もあつて。きょう大西先生いらっしゃらないので、さっきと同じなんですけど、やはり議論させていただければと思います。御指摘ありがとうございます。

○久間議員 きょう午前中に自民党の会議があつたのですが、ちょうど分野別戦略本部からの説明がありました。知財・本部の委員会には原山議員、健康・医療は平野議員が出席されています。他の戦略本部の会議にも、一人一つずつ出席するとよいですね。CSTIの議員は8人いるわけですから。

○原山議員 その他コメントございませんでしたら、最終バージョンに向けてできるだけペンディングがないような形で持って行っていただいて、またアップデートしたものを議員とシェアさせていただければと思いますので、よろしく願います。最後まで詰めたんですが、よろしく願います。

これもちまして、議題2のほうを終了させていただきます。ありがとうございました。

以上